

(速報情報)

(平成30年11月15日17時発表)

主なマリンレジャーに伴う人身海難(11月14日)

海上保安庁交通部安全対策課

番号	海難発生日時	海難発生場所	区分	国籍	性別	年代	概要	事故者数	死者・ 行方不明者数
							主なマリンレジャーに伴う人身海難の発生はありませんでした。		

※速報情報のため、今後の調査により内容が変わる場合があります。

※死者・行方不明者は、事故者数の内数です。

※調査中の事項は「―」で表示しています。

問合せ先:安全対策課 首席海難調査官 大下
03-3591-6361(内線6501)
03-3591-9736/03-3591-9566(夜間直通・土日・休日)

★「海の安全情報」を活用し、マリンレジャーを安全に楽しみましょう！

海上保安庁では、気象・海象の把握不足による海難を防止することを目的として、マリンレジャーを楽しむ方やプレジャーボート等の操船者に対して、全国各地の灯台等で観測した風向、風速、波高等の情報、気象庁が発表する気象警報・注意報、海上模様が把握できるライブカメラ映像等を「海の安全情報」として提供しています。

「海の安全情報」は、パソコンやスマートフォンで利用することができます。特に、地図機能を活用した「スマートフォン用サイト」では、GPSの位置情報により、現在地の確認ができ、周辺の気象・海象等を地図画面上に表示することができます。

また、海上保安庁が発表する緊急情報や気象庁発表の気象警報などをメールで配信するサービスもありますので、是非、ご登録ください。

「海の安全情報」(スマートフォン用サイト) <https://www6.kaiho.mlit.go.jp/sp/index.html>

緊急情報配信サービス登録 <https://www7.kaiho.mlit.go.jp/micsmail/reg/touroku.html>

(速報情報)

(平成30年11月14日13時発表)

主なマリレジャーに伴う人身海難(11月13日)

海上保安庁交通部安全対策課

番号	海難発生日時	海難発生場所	区分	国籍	性別	年代	概要	事故者数	死者・ 行方不明者数
							主なマリレジャーに伴う人身海難の発生はありませんでした。		

※速報情報のため、今後の調査により内容が変わる場合があります。

※死者・行方不明者は、事故者数の内数です。

※調査中の事項は「―」で表示しています。

問合せ先:安全対策課 首席海難調査官 大下
03-3591-6361(内線6501)
03-3591-9736/03-3591-9566(夜間直通・土日・休日)

★海釣りを安全に楽しむために

海釣りに関連する事故は、海中転落が全体の8割を占め、そのうちの9割が死亡・行方不明となっています。
事故を防止し、安全に海釣りを楽しむために、以下の対策を徹底しましょう。

- ・出発前はもちろんのこと、海釣りの最中も最新の気象・海象情報を入手する。
- ・荒天が予想される場合は早めに切り上げる。
- ・危険箇所を把握する。(例)足元の滑りやすい場所、段差、突起物など
- ・適切な装備品を携行・着用する。(例)夜間のライトの携行、滑りにくいシューズの着用 等

また、万一の海中転落に備え救命胴衣を着用するとともに、防水パック等に入れた携帯電話を携行し、連絡手段を確保しましょう。
事故を目撃した場合は、海上保安庁(118番)などの公的救助機関に通報しましょう。

「釣り中の事故に注意」

https://www6.kaiho.mlit.go.jp/info/keihatsu/20180905_fishing_accident.pdf

「秋季における人身海難の傾向と対策」

https://www6.kaiho.mlit.go.jp/info/keihatsu/2018_autumn_fishing.pdf

「海の安全情報」(スマートフォン用サイト)

<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/sp/index.html>

(速報情報)

(平成30年11月13日16時発表)

主なマリンレジャーに伴う人身海難(11月12日)

海上保安庁交通部安全対策課

番号	海難発生日時	海難発生場所	区分	国籍	性別	年代	概要	事故者数	死者・ 行方不明者数
							主なマリンレジャーに伴う人身海難の発生はありませんでした。		

※速報情報のため、今後の調査により内容が変わる場合があります。

※死者・行方不明者は、事故者数の内数です。

※調査中の事項は「―」で表示しています。

問合せ先:安全対策課 首席海難調査官 大下
03-3591-6361(内線6501)
03-3591-9736/03-3591-9566(夜間直通・土日・休日)

★海釣りを安全に楽しむために

海釣りに関連する事故は、海中転落が全体の8割を占め、そのうちの9割が死亡・行方不明となっています。
事故を防止し、安全に海釣りを楽しむために、以下の対策を徹底しましょう。

- ・出発前はもちろんのこと、海釣りの最中も最新の気象・海象情報を入手する。
- ・荒天が予想される場合は早めに切り上げる。
- ・危険箇所を把握する。(例)足元の滑りやすい場所、段差、突起物など
- ・適切な装備品を携行・着用する。(例)ライトの携行、滑りにくいシューズの着用 等

また、万一の海中転落に備え救命胴衣を着用するとともに、防水パック等に入れた携帯電話を携行し、連絡手段を確保しましょう。
事故を目撃した場合は、海上保安庁(118番)などの公的救助機関に通報しましょう。

「秋季における人身海難の傾向と対策」 https://www6.kaiho.mlit.go.jp/info/keihatsu/2018_autumn_fishing.pdf

(速報情報)

(平成30年11月12日20時発表)

主なマリナーに伴う人身海難(11月9～11日)

海上保安庁交通部安全対策課

番号	海難発生日時		海難発生場所	区分	国籍	性別	年代	概要	事故者数	死者・ 行方不明者数
1	11月10日	08:15頃	静岡県伊東市 富戸地先門脇崎	海中転落	日本	男性	50代	釣りの最中 に磯場から 転落したもの	1	0

※速報情報のため、今後の調査により内容が変わる場合があります。

※死者・行方不明者は、事故者数の内数です。

※調査中の事項は「—」で表示しています。

問合せ先:安全対策課 首席海難調査官 大下
03-3591-6361(内線6501)
03-3591-9736/03-3591-9566(夜間直通・土日・休日)

★釣り中の事故に注意!

磯場で釣りの最中に、波にさらわれて海中転落する事故が発生しています。

事故防止のために、以下の対策を徹底しましょう。

- ・出発前、釣りの最中における最新の気象・海象情報の入手
- ・荒天が予想される場合の早めの切り上げ
- ・危険箇所の把握 (例)足元の滑りやすい場所、段差、突起物など
- ・適切な装備品の着用 (例)磯釣り⇒滑りにくいシューズの着用 等

また、万一の海中転落に備え救命胴衣を着用するとともに、防水パック等に入れた携帯電話を携帯し、連絡手段を確保しましょう。

事故を目撃した場合は、海上保安庁(118番)などの公的救助機関に通報しましょう。

～高波に関する豆知識～

気象庁の予報や「海の安全情報」で表示される、波の高さは”有義波高”と呼ばれ、

一見、海上が平穏でも、同じような波の状態が続くとき、100波に1波は有義波高の1.5倍、1,000波に1波は有義波高の2倍近い高波が出現するといわれています。

「秋季における人身海難の傾向と対策」 https://www6.kaiho.mlit.go.jp/info/keihatsu/2018_autumn_fishing.pdf

「海の安全情報」(スマートフォン用サイト) <https://www6.kaiho.mlit.go.jp/sp/index.html>

(速報情報)

(平成30年11月9日15時発表)

主なマリンレジャーに伴う人身海難(11月8日)

海上保安庁交通部安全対策課

番号	海難発生日時	海難発生場所	区分	国籍	性別	年代	概要	事故者数	死者・ 行方不明者数
							主なマリンレジャーに伴う人身海難の発生はありませんでした。		

※速報情報のため、今後の調査により内容が変わる場合があります。

※死者・行方不明者は、事故者数の内数です。

※調査中の事項は「―」で表示しています。

問合せ先:安全対策課 首席海難調査官 大下
03-3591-6361(内線6501)
03-3591-9736/03-3591-9566(夜間直通・土日・休日)

★釣りを安全に楽しむためのポイント

例年、秋季に釣り中の事故が多く発生しており、特に海中転落が全体の8割を占めています。

釣りを安全に楽しむために、次のポイントを守りましょう。

- ・複数人で行動しましょう
- ・夜間はライトを使用し、足元に注意しましょう
- ・立入禁止区域への立ち入りや、飲酒後の釣りはやめましょう
- ・磯場では突然の高波に注意しましょう
- ・救命胴衣を常時着用しましょう

当庁では、秋季における人身海難の傾向と対策をとりまとめているので、ぜひご覧ください。

「秋季における人身海難の傾向と対策」 https://www6.kaiho.mlit.go.jp/info/keihatsu/2018_autumn_fishing.pdf